

平成 30 年度（2018 年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文試験

C 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は 5 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

## 平成 30 年度（2018 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	小 論 文
------	-------

出典：碧海純一『法と社会』（中公新書、1982年第27版）135頁—143頁  
なお、出題に際して、原文が縦書きのものを横書きにするなど一部改変を加えた。

問1 （下線部1）でいう「法の変革機能」とは何か。200字以内で説明しなさい。

問2 筆者は、（下線部2）の後で、「諸条件」の例として、

- ①一般国民の認識と努力
- ②言論の自由と保障
- ③複数政党の存在

を挙げている。①～③がなぜ「フィードバック装置」としての機能を果たすのか、あなたの考えを600字以内で論じなさい。

下線部1 139頁9行

下線部2 143頁2－5行